

平成18事業年度

# 決 算 報 告 書

【 第 3 期 】

自 平成18年 4月 1日  
至 平成19年 3月31日

国立大学法人 京 都 大 学

# 平成 18 年度 決算報告書

国立大学法人 京 都 大 学

(単位:百万円)

区 分	予 算	決 算	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	62,228	62,228	-	
施設整備費補助金	6,014	6,241	227	(注1)
補助金等収入	351	543	192	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	153	153	-	
自己収入	36,750	38,206	1,456	
授業料、入学料及び検定料収入	13,093	12,963	130	(注3)
附属病院収入	23,189	24,519	1,330	(注4)
雑収入	468	724	256	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	16,712	21,173	4,461	(注6)
承継剰余金	-	92	92	(注7)
計	122,208	128,636	6,428	
支出				
業務費	87,065	85,225	1,840	(注8)
教育研究経費	65,700	61,721	3,979	
診療経費	21,365	23,504	2,139	
一般管理費	6,980	6,366	614	(注9)
施設整備費	6,167	6,394	227	(注10)
補助金等	351	542	191	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	16,712	20,871	4,159	(注12)
長期借入金償還金	4,933	4,933	-	
計	122,208	124,331	2,123	
収入 - 支出	-	4,305	4,305	

## 予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった(由美浜)流域圏総合環境質研究センター研究棟事業、災害復旧事業、平成18年度補正予算により、予算額に比して決算額が227百万円多額となっております。
- (注2) 予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して192百万円決算額が多額となっております。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料免除者の増加、後期入試を取りやめたことによる志願者の減少等により、予算額に比して決算額が130百万円減収となっております。
- (注4) 附属病院収入については、患者数の増及び病床稼働率の向上により、予算額に比して決算額が1,330百万円増収となっております。
- (注5) 雑収入については、主として施設利用料収入及び受取利息等により、予算額に比して決算額が256百万円増収となっております。
- (注6) 予算段階では予定していなかった国等からの受託研究や民間からの寄附の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が4,461百万円増収となっております。
- (注7) 承継剰余金については、特定共同指導の診療報酬の返還を行ったため、予算額に比して92百万円多額となっております。
- (注8) 業務費については、退職手当において、退職予定者が当初見込みを下回ったため、予算額に比して決算額が1,109百万円少額となっております。  
また、経費の節減等により、予算額に比して決算額が731百万円少額となっております。
- (注9) 一般管理費においては、経費の節減等により、予算額に比して決算額が614百万円少額となっております。
- (注10) (注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が227百万円多額となっております。
- (注11) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が191百万円多額となっております。
- (注12) (注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が4,159百万円多額となっております。